



■研究の道へ
平成8年、札幌医科大学医学研究科博士課程内科学専攻に進まれ、がん細胞の浸潤転移のメカニズムについて研究され、その後、東京大学大学院医学系研究科免疫学講座で、助手および講師を勤められました。

■今取り組んでいる研究
長年の研究で、B型肝炎ウイルスの、人の細胞内への侵入を認識して免疫を活性化させ、ウイルスの増殖を直接的に抑える働きをする肝細胞内のタンパク質の特定に成功しました。これまで、B型肝炎ウイルスを完全に排除して完治させる治療はなく、根元から消し去ることができると可能性が出てきたとして、新薬開発に結びつく重要な第一歩と言われる研究成果を、平成27年1月1日に発表されました。

高岡先生の研究は、生命の維持に大きく関わり、私たちの生活に密着しているもので、「自分を育ててくれた社会や人々に、少しでも恩返しができるよう、現在の基礎医学研究の分野で日々努力していきたい」と話されており、今後のさらなるご活躍が期待されます。

■生い立ち
北町顕正寺のご長男として生まれ、いろいろなことに挑戦したり学んだりするのが好きだった先生は、剣道やスキーの少年団に参加するなど活発な少年時代を過ごし、旭川東高等学校、札幌医科大学へ進学されました。

がんばる人 にピンスポ!!

高岡先生は、平成19年から北海道大学遺伝子病制御研究所分子生体防御分野の教授に就任。平成24年より同研究所の所長としてご活躍されています。

北海道大学遺伝子病制御研究所
所長 高岡 晃 教さん

ウイルス抑制物質を特定

B型肝炎治療薬の開発に期待

■研究から離れると多忙な先生の楽しみは、奥さんと3歳半になる息子さんの時間を大事にして、週末には家族で円山動物園へ行くことだそうです。

どさんこプラザで「和寒町」をPR!

平成26年12月10日～16日までの7日間、どさんこプラザ札幌店（JR札幌駅西通り北口1階）において「What's some わっさむフェア」と題し、道内消費者や観光客に「かぼちゃの里 和寒町」のPRをおこないました。

店頭では、かぼちゃ「雪化粧」「くり將軍」のほか「わっさむペポナッツ（和寒シーズ）」（表紙写真下部）「ペポの雫（フタバ屋）」などペポカボチャ関連商品も販売し、いずれも連日大盛況の売れ行きとなりました。



▲北海道どさんこプラザ札幌店の入口前

